

医療的ケア児に関する保育ニーズ調査

平成 31 年 2 月

こども未来局

はじめに

福岡市内の医療的ケアを必要とする就学前児童（以下、医療的ケア児という）に係る保育ニーズを把握するため、関係機関等を通じてアンケートを配付し、平成30年8月8日から、同年12月31日までに回答のあったものについて集計したもの。

なお、回答が得られた76件のうち、医療的ケアの項目に該当がなかったもの（6件）については、集計の対象外とし、有効回答を70件とする。

I 調査の概要

1. 目的

福岡市内の医療的ケアを必要とする就学前児童に係る保育ニーズを把握し、今後の保育施策について検討する上での資料を得るために実施

2. 調査項目

(1) 対象児童の状況

居住区、年齢、身体障がい者手帳等の保有状況、医療的ケアの状況、運動・食事等の状況、医療的ケアの実施者、日中の生活の場所

(2) 介助者の状況

主な介助者、就労の状況・意向、求めるサービス

3. 調査地域

福岡市全域

4. 調査対象者

医療的ケアを必要とする就学前児童のいる家庭

5. 調査方法

児童発達支援センター、児童発達支援事業所、基幹病院、訪問看護事業所、各区役所で調査票を対象者に配付、保護者が記入後、郵送で回答

6. 調査期間

平成30年8月8日～12月31日

7. 回収状況

有効回答70件

注) 回答比率の合計は、端数処理の関係で、必ずしも100%になるとは限らない。

目次

1. 医療的ケアが必要なお子さんについて

- 1-(1) 居住区について . . . P 3
- 1-(2) 年齢について . . . P 3
 <分析> 居住区別, 年齢別の集計 . . . P 4
- 1-(3) 手帳や受給者証の保持状況について . . . P 5
 <分析> 身体障がい者手帳別, 療育手帳別の集計 . . . P 6
- 1-(4) お子さんの医療的ケアの状況について . . . P 7
 <分析> 必要な医療的ケアの数 . . . P 7
- 1-(5) お子さんの様子について . . . P 8・P 9
- 1-(6) 医療的ケアの実施者について . . . P 10
- 1-(7) 日中, 生活している場所について . . . P 10

2. 医療的ケア児の主な介助者の方について

- 2-(1) 主な介助者について . . . P 11
- 2-(2) 主な介助者の就労について . . . P 12
 <分析> 主な介助者の就労状況と手帳との関係 . . . P 13
- 2-(3) 求めるサービスについて . . . P 14
 <分析 1 > 2-(2)で, 就労意向ありの回答と手帳との関係 . . . P 15
 <分析 2 > 2-(2)で, 就労意向なし等の回答 . . . P 16
 <集計 1 > <分析 1 >と<分析 2 >の集計 . . . P 17
 <集計 2 > 希望するサービスと就労意向との関係 . . . P 18
 <分析 3 > 希望するサービスの順位と就労意向との関係 . . . P 19
- 2-(4) 調査票の受け取り場所について . . . P 20
- 2-(5) 自由意見 . . . P 20

II 調査結果

1. 医療的ケアが必要なお子さんについてお尋ねします。(小学校就学前のお子さんが対象です。)

1-(1) お住まいの区はどこですか。該当する区に○をつけてください。

表 1-1

(N=70)

居住区	東	博多	中央	南	城南	早良	西	計
人数	24人	12人	1人	11人	6人	9人	7人	70人
割合	34.3%	17.1%	1.4%	15.7%	8.6%	12.9%	10.0%	100.0%

最も多いのは、東区で3分の1以上を占める。次が博多区(17.1%)、南区(15.7%)と続き、中央区(1.4%)が最も少ない。

1-(2) 年齢について教えてください。(平成30年4月1日時点)

表 1-2-1

(N=70)

年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	不詳	計
人数	5人	7人	17人	16人	9人	11人	5人	70人
割合	7.1%	10.0%	24.3%	22.9%	12.9%	15.7%	7.1%	100.0%

最も多いのは2歳児で、24.3%を占める。次が3歳児(22.9%)、5歳児(15.7%)と続き、0歳児(7.1%)が最も少ない。なお、年齢に回答がないもの等は、年齢不詳とした。

<分析> 居住区別，年齢別に集計すると，次のとおりとなる。

表 1 - 2 - 2

(N=70)

居住区	年齢	0歳児	1歳児	2歳児	3歳児	4歳児	5歳児	不詳	計
東	人数	1人	5人	4人	6人	3人	4人	1人	24人
	割合	1.4%	7.1%	5.7%	8.6%	4.3%	5.7%	1.4%	34.3%
博多	人数	3人	0人	3人	4人	0人	1人	1人	12人
	割合	4.3%	0.0%	4.3%	5.7%	0.0%	1.4%	1.4%	17.1%
中央	人数	0人	0人	1人	0人	0人	0人	0人	1人
	割合	0.0%	0.0%	1.4%	0.0%	0.0%	0.0%	0.0%	1.4%
南	人数	1人	1人	4人	2人	1人	1人	1人	11人
	割合	1.4%	1.4%	5.7%	2.9%	1.4%	1.4%	1.4%	15.7%
城南	人数	0人	1人	1人	0人	3人	0人	1人	6人
	割合	0.0%	1.4%	1.4%	0.0%	4.3%	0.0%	1.4%	8.6%
早良	人数	0人	0人	3人	1人	2人	3人	0人	9人
	割合	0.0%	0.0%	4.3%	1.4%	2.9%	4.3%	0.0%	12.9%
西	人数	0人	0人	1人	3人	0人	2人	1人	7人
	割合	0.0%	0.0%	1.4%	4.3%	0.0%	2.9%	1.4%	10.0%
計	人数	5人	7人	17人	16人	9人	11人	5人	70人
	割合	7.1%	10.0%	24.3%	22.9%	12.9%	15.7%	7.1%	100.0%

1-(3) 手帳や受給者証をお持ちですか。あてはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

<身体障がい者手帳>

表 1-3-1

(N=70)

手帳等級	1 級	2 級	3 級	4 級	なし	計
人数	54 人	1 人	1 人	2 人	12 人	70 人
割合	77.1%	1.4%	1.4%	2.9%	17.1%	100.0%

医療的ケア児の77.1%が、身体障がい者手帳 1 級を保持している。

<療育手帳>

表 1-3-2

(N=70)

手帳等級	A 1	A 2	A 3	B 1	B 2	あり	なし	計
人数	31 人	5 人	1 人	2 人	2 人	2 人	27 人	70 人
割合	44.3%	7.1%	1.4%	2.9%	2.9%	2.9%	38.6%	100.0%

最も多いのは A 1 で、医療的ケア児の44.3%が保持している。次に、療育手帳なし(38.6%)、A 2 (7.1%) と続く。

<精神障がい者保健福祉手帳>

該当なし

<小児慢性特定疾病医療受給者証>

保持者：39人

<その他>

該当なし

<分析> 身体障がい者手帳別，療育手帳別に集計すると，次のとおりとなる。

表 1 - 3 - 3

(N=70)

		身 障 手 帳 等 級					
		1 級	2 級	3 級	4 級	なし	計
療 育 手 帳 等 級	A 1	31 人	0 人	0 人	0 人	0 人	31 人
		44.3%	0%	0%	0%	0%	44.3%
	A 2	4 人	0 人	0 人	0 人	1 人	5 人
		5.7%	0%	0%	0%	1.4%	7.1%
	A 3	0 人	1 人	0 人	0 人	0 人	1 人
		0%	1.4%	0%	0%	0%	1.4%
	B 1	0 人	0 人	0 人	0 人	2 人	2 人
		0%	0%	0%	0%	2.9%	2.9%
	B 2	1 人	0 人	0 人	0 人	1 人	2 人
		1.4%	0%	0%	0%	1.4%	2.9%
	あり (等級不明)	2 人	0 人	0 人	0 人	0 人	2 人
		2.9%	0%	0%	0%	0%	2.9%
	なし	16 人	0 人	1 人	2 人	8 人	27 人
		22.9%	0%	1.4%	2.9%	11.4%	38.6%
計	54 人	1 人	1 人	2 人	12 人	70 人	
	77.1%	1.4%	1.4%	2.9%	17.1%	100.0%	

身障手帳 1 級かつ療育手帳 A 1 の方が最も多く (44.3%)，次に，身障手帳 1 級かつ療育手帳を保持していない (22.9%) と続く。

全体の 50.0% が，重度重複児 (※) という結果となっている一方で，いずれの手帳も保持していないとの回答が，11.4% となっている。

(※) この調査においては，身障手帳 1 級又は 2 級と，療育手帳 A 1 又は A 2 を併有している児童を「重度重複児」としている。

1-4) お子さんの医療的ケアの状況について該当するものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

表 1-4-1

(N=70)

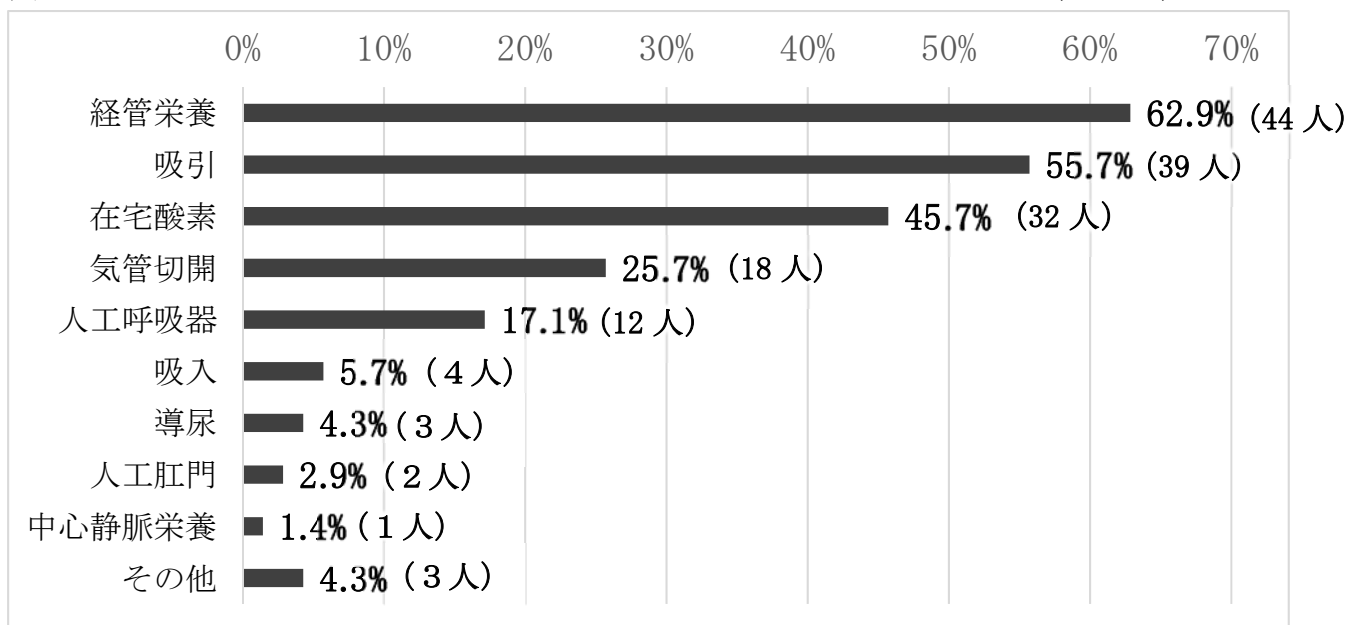
種類	経管栄養	吸引	在宅酸素	気管切開	人工呼吸器
人数	44人	39人	32人	18人	12人
割合	62.9%	55.7%	45.7%	25.7%	17.1%

種類	吸入	導尿	人工肛門	中心静脈栄養	その他
人数	4人	3人	2人	1人	3人
割合	5.7%	4.3%	2.9%	1.4%	4.3%

6割以上が、経管栄養と回答している。次が、吸引(55.7%)、在宅酸素(45.7%)、気管切開(25.7%)と続く。

図 1-4

(N=70)



<分析> 必要な医療的ケアの数

表 1-4-2

(N=70)

必要数	1つ	2つ	3つ	4つ	5つ	計
人数	26人	18人	14人	6人	6人	70人
割合	37.1%	25.7%	20.0%	8.6%	8.6%	100.0%

最も多いのは、1つで37.1%、次に2つ(25.7%)、3つ(20.0%)と続く。なお、複数の医療的ケアを必要とする回答の合計は、62.9%となっている。

1-5) お子さんの様子について、該当するものすべてに○をつけてください。
(複数回答可)

<運動>

表1-5-1

(N=70)

可能な運動	ひとりで歩く	ひとりで立つ	つかまり立ち	ひとりで座る	這う
人数	18人	2人	5人	5人	4人
割合	25.7%	2.9%	7.1%	7.1%	5.7%

可能な運動	寝返り	首がすわる	未回答	計
人数	10人	1人	25人	70人
割合	14.3%	1.4%	35.7%	100.0%

未回答が最も多く (35.7%)、次に、ひとりで歩く (25.7%)、寝返り (14.3%) と続く。

<食事>

表1-5-2

(N=70)

食事	経管栄養	離乳食			刻み食	普通食
		初期	中期	後期		
人数	43人	11人	8人	2人	4人	14人
割合	61.4%	15.7%	11.4%	2.9%	5.7%	20.0%

経管栄養が最も多く (61.4%)、次に、普通食 (20.0%)、離乳食・初期 (15.7%) と続く。

<排泄>

表1-5-3

(N=70)

排泄	常時オムツ (紙パンツ)	夜のみオムツ	常時布パンツ	計
人数	63人	4人	3人	70人
割合	90.0%	5.7%	4.3%	100.0%

9割が、常時オムツ (紙パンツ) を着用している。

<言語理解>

表 1-5-4

(N=70)

言語理解	まだ理解できない	簡単な言語は理解できる	理解できる	その他	計
人数	42人	15人	12人	1人	70人
割合	60.0%	21.4%	17.1%	1.4%	100.0%

「まだ理解できない」が、6割を占める。

<発語>

表 1-5-5

(N=70)

発語	発声なし	喃語(※1)	単語	二語文(※2)	不明瞭だが話せる	話せる	計
人数	29人	27人	2人	2人	1人	9人	70人
割合	41.4%	38.6%	2.9%	2.9%	1.4%	12.9%	100.0%

(※1) 赤ちゃんが発する2つ以上の音からなる声(「あぶ」、「あむ」、「ばぶ」など)

(※2) 目的語と述語などの文の構成要素の2つの単語から成る文(「まんま ちょうだい」、「わんわん きた」、「パン たべる」など)

「発声なし」が一番多く(41.4%)、次に、「喃語(あぶ、あむ、ばぶ等)」が(38.6%)となっており、合わせると8割となる。

<コミュニケーション支援>

表 1-5-6

(N=70)

支援内容	言葉のみでわかる	視覚的情報(実物, 絵, 写真など)が必要	手話が必要
人数	16人	7人	1人
割合	22.9%	10.0%	1.4%

支援内容	未回答	その他	計
人数	40人	6人	70人
割合	57.1%	8.6%	100.0%

未回答が最も多く、57.1%を占める。次に、言葉のみでわかる(22.9%)、視覚的情報(絵・写真など)が必要(10.0%)と続く。

1-(6) 医療的ケアの実施者はどなたですか。該当する方すべてに○をつけてください。(複数回答可)

表 1-6

(N=70)

実施者	家族	本人	医師	看護師	保育士	幼稚園 教諭	その他	未回答
人数	69人	1人	18人	46人	1人	0人	3人	1人
割合	98.6%	1.4%	25.7%	65.7%	1.4%	0%	4.3%	1.6%

家族(98.6%)に続いて、看護師(65.7%)、医師(25.7%)となっている。
なお、その他の3人については、「ヘルパー」と記載されている。

1-(7) 日中、生活されている場所について当てはまるものすべてに○をつけてください。(複数回答可)

表 1-7

(N=70)

場所	自宅	児童発達支援セ ンターや事業所	日中一時支援 事業所	保育施設 (保育所等)
人数	70人	36人	19人	4人
割合	100.0%	51.4%	27.1%	5.7%

場所	幼稚園	病院	その他
人数	0人	1人	0人
割合	0%	1.4%	0%

自宅以外の日中の生活場所としては、児童発達支援センターや事業所が最も多く(51.4%)、次いで日中一時支援事業所(27.1%)となっている。

2. 医療的ケア児の主な介助者の方についてお尋ねします。

2-1) 主な介助者はどなたですか。(該当する方1つに○をつけてください。)

表2-1

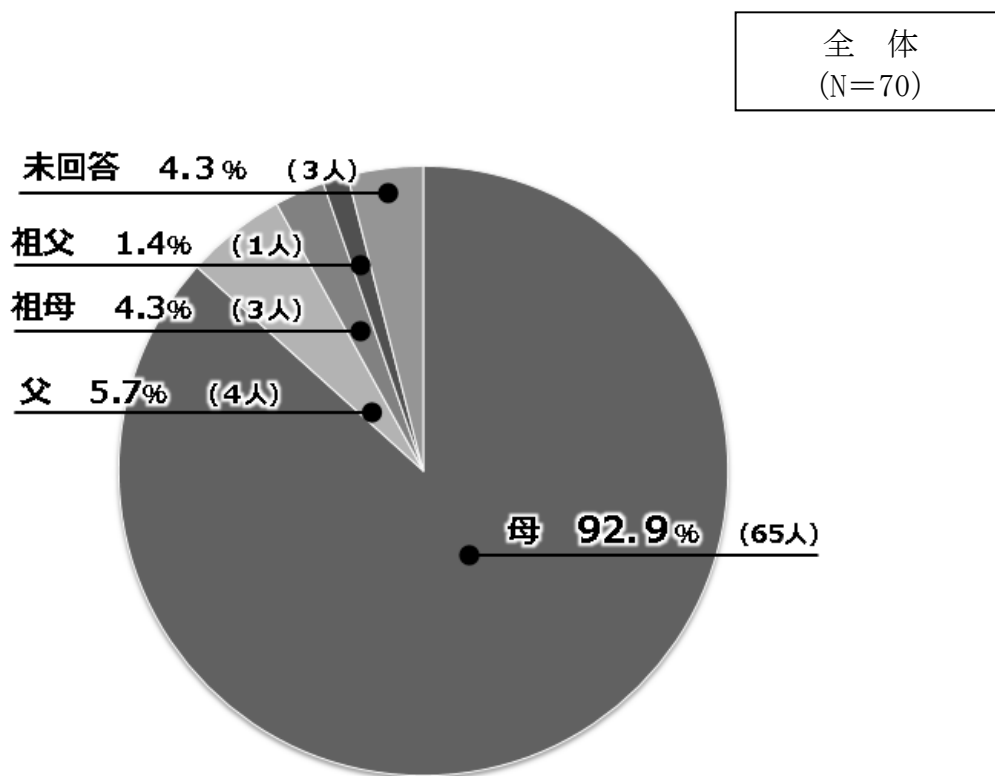
(N=70)

続柄	父	母	祖父	祖母	兄弟	その他	未回答	計
人数	4人	65人	1人	3人	0人	0人	3人	76人
割合	5.7%	92.9%	1.4%	4.3%	0%	0%	4.3%	— %

主な介助者の約9割が、母となっている。

なお、4人が複数回答(うち、2人が、3つに○をつけている。)しているが、単独回答が困難な事情があったものと推測し、有効回答として取り扱う。

図2-1



2-2) 主な介助者の就労について該当するものに○をつけてください。

表2-2-1

(N=70)

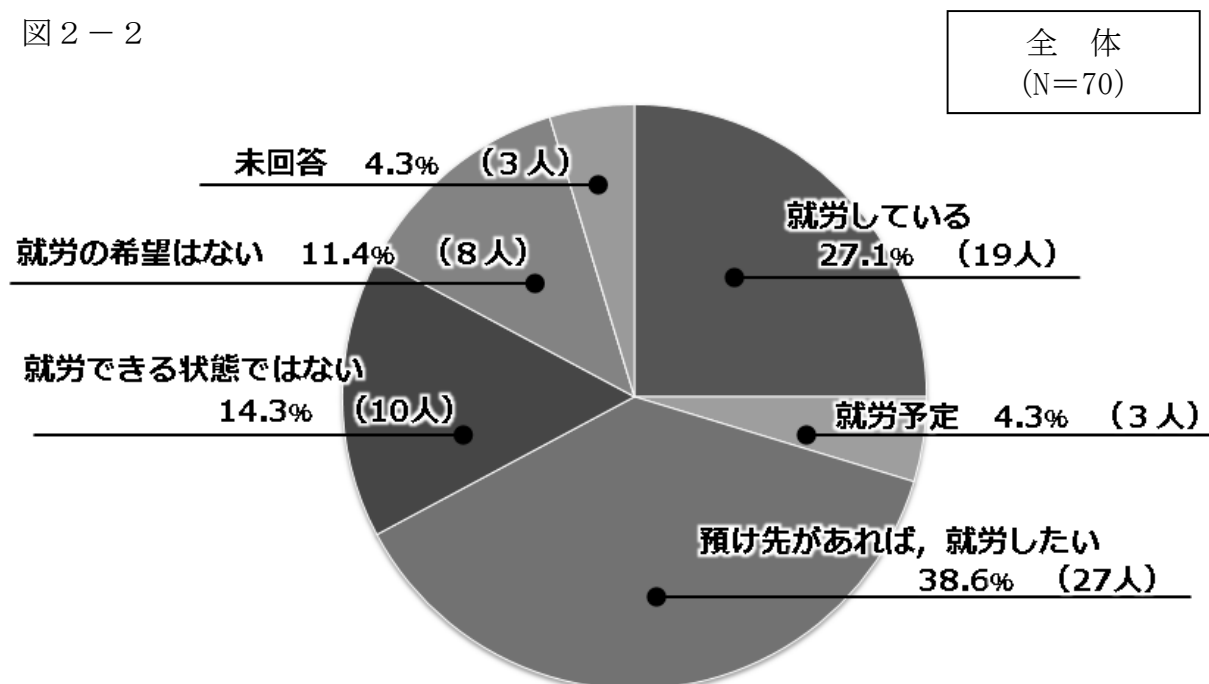
就労状況等	就労している	就労予定	預け先があれば、 就労したい	就労できる状態では ない
人数	19人	3人	27人	10人
割合	27.1%	4.3%	38.6%	14.3%

就労状況等	就労の希望は ない	その他	未回答	計
人数	8人	0人	3人	70人
割合	11.4%	0%	4.3%	100.0%

「預け先があれば、就労したい」(38.6%)が最も多く、次いで「就労している」(27.1%)となっている。また、就労意向あり(「就労している」、「就労予定」、「預け先があれば、就労したい」の合計)の割合は、全体の70.0%(49人)となっている。

なお、「預け先があれば、就労したい」の24人中、2人が、「子どもが7歳になったときから就労したい」旨を記載している。

図2-2



<分析> 主な介助者の就労状況と手帳の関係は、次のとおりとなる。

表 2-2-2

(N=70)

就労状況	重度重複児	手帳なし	左記以外	合計
就労している	8人	2人	9人	19人
	11.4%	2.9%	12.9%	27.1%
就労予定	2人	0人	1人	3人
	2.9%	0%	1.4%	4.3%
預け先があれば、就労したい	16人	3人	8人	27人
	22.9%	4.3%	11.4%	38.6%
小計	26人	5人	18人	49人
	37.1%	7.1%	25.7%	70.0%
就労できる状態ではない	5人	1人	4人	10人
	7.1%	1.4%	5.7%	14.3%
就労の希望はない	4人	1人	3人	8人
	5.7%	1.4%	4.3%	11.4%
未回答	0人	1人	2人	3人
	0%	1.4%	2.9%	4.3%
小計	9人	3人	9人	21人
	12.9%	4.3%	12.9%	30.0%
合計	35人	8人	27人	70人
	50.0%	11.4%	38.6%	100.0%

重度重複児に係る主な介助者については、「預け先があれば、就労したい」が最も多く、22.9%を占める。次いで「就労している」(11.4%)となっている。また、就労意向あり(「就労している」、「就労予定」、「預け先があれば、就労したい」の合計)の割合は、37.1%(26人)となっている。

なお、「預け先があれば、就労したい」の16人中、2人が、「子どもが7歳になったときから就労したい」旨を記載している。

手帳なしに係る主な介助者については、「預け先があれば、就労したい」が最も多く(4.3%)、就労している(2.9%)と続く。また、就労意向ありの割合は、7.1%(5人)となっている。

重度重複児及び手帳なし以外に係る主な介助者については、「就労している」が最も多く(12.9%)、「預け先があれば、就労したい」(11.4%)と続く。また、就労意向ありの割合は、25.7%(18人)となっている。

2-(3) お子さんの教育・保育・療育等に関して、求めるサービスは何ですか。
(複数回答可)

表 2-3-1

(N=70)

サービス	保育施設（保育所等）での医療的ケアの提供体制の整備	幼稚園での医療的ケアの提供体制の整備及び長時間預かり	児童発達支援施設又は事業所での専門的な療育体制の充実（医療型含む）	日中一時支援事業の充実
人数	39人	21人	37人	36人
割合	55.7%	30.0%	52.9%	51.4%

サービス	自宅と上記施設等の送迎サービスの送迎サービス	在宅での医療的ケアを含む保育事業	その他	未回答
人数	32人	18人	6人	5
割合	45.7%	25.7%	8.6%	7.1%

「保育施設（保育所等）での医療的ケアの提供体制の整備」（以下「保育所等」という。）が最も多く（55.7%）、「児童発達支援施設又は事業所での専門的な療育体制の充実（医療型含む）」（以下「児童発達支援」という。）（52.9%）、「日中一時支援事業の充実」（以下「日中一時支援」という。）（51.4%）、「自宅と上記施設等の送迎サービス」（以下「送迎」という。）（45.7%）と続く。

<分析1> 2-(2)で、就労意向あり（「就労している」、「就労予定」及び「預け先があれば就労したい(※)」の方）の回答と手帳との関係

表2-3-2

(N=47)

サービス	保育施設（保育所等）での医療的ケアの提供体制の整備	幼稚園での医療的ケアの提供体制の整備及び長時間預かり	児童発達支援施設又は事業所での専門的な療育体制の充実（医療型含む）	日中一時支援事業の充実
重度重複児	12人 25.5%	6人 12.8%	11人 23.4%	17人 36.2%
手帳なし	4人 8.5%	3人 6.4%	4人 8.5%	2人 4.3%
上記以外	15人 31.9%	8人 17.0%	10人 21.3%	6人 12.8%
合計	31人 66.0%	17人 36.2%	25人 53.2%	25人 53.2%

サービス	自宅と上記施設等の送迎サービスの送迎サービス	在宅での医療的ケアを含む保育事業	その他	未回答
重度重複児	13人 27.7%	9人 19.1%	3人 6.4%	0人 0%
手帳なし	1人 2.1%	0人 0%	1人 2.1%	0人 0%
上記以外	7人 14.9%	2人 4.3%	0人 0%	1人 2.1%
合計	21人 44.7%	11人 23.4%	4人 8.5%	1人 2.1%

2-(2)で、就労意向あり（「就労している」、「就労予定」及び「預け先があれば、就労したい(※)」の方）では、全体同様、「保育所等」が最も多く（66.0%）、「児童発達支援」（53.2%）、「日中一時支援」（53.2%）、「送迎」（44.7%）と続く。

このうち、重度重複児に係る主な介助者については、「日中一時支援」が最も多く（36.2%）、「送迎サービス」（27.7%）、「保育所等」（25.5%）と続く。

また、手帳なしに係る主な介助者については、「保育所等」、「児童発達支援」が最も多く、それぞれ8.5%となっている。

なお、それ以外の児童に係る主な介助者については、「保育所等」が最も多く（31.9%）、「児童発達支援」（21.3%）、「幼稚園」（17.0%）と続く。

(※) 子どもが7歳以上での就労希望者を除く

<分析2> 2-(2)で、就労意向なし等（「就労できる状態ではない」、「就労の希望はない」、「その他」、「未回答」及び「預け先があれば就労したい(※)」と回答した方）の回答

表2-3-3

(N=23)

サービス	保育施設（保育所等）での医療的ケアの提供体制の整備	幼稚園での医療的ケアの提供体制の整備及び長時間預かり	児童発達支援施設又は事業所での専門的な療育体制の充実（医療型含む）	日中一時支援事業の充実
人数	8人	4人	12人	11人
割合	34.8%	17.4%	52.2%	47.8%

サービス	自宅と上記施設等の送迎サービス	在宅での医療的ケアを含む保育事業	その他	未回答
人数	11人	7人	2人	4人
割合	47.8%	30.4%	8.7%	17.4%

2-(2)で、就労意向なし等（「就労できる状態ではない」、「就労の希望はない」、「その他」、「未回答」及び「預け先があれば就労したい預け先があれば就労したい(※)」と回答した方）では、「児童発達支援」が最も多く（52.2%）、「日中一時支援」（47.8%）、「送迎」（47.8%）、「保育所等」（34.8%）と続く。

(※) 子どもが7歳以上での就労希望者

<集計1> <分析1>と<分析2>の集計

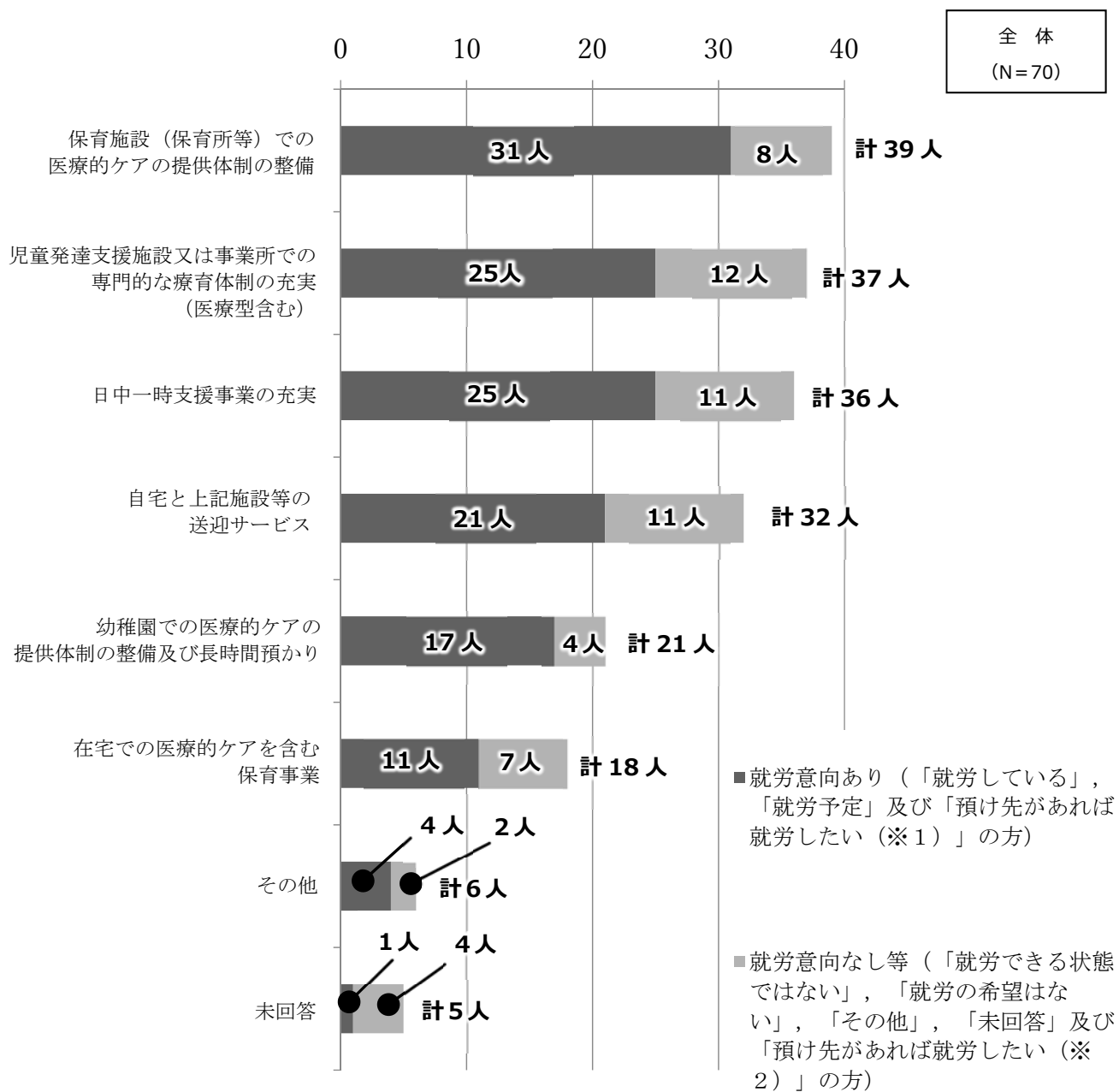
表2-3-4

(N=70)

サービス	就労意向あり			小計	就労意向なし	計
	重度重複児	手帳なし	左記以外		—	
保育所等	12人	4人	15人	31人	8人	39人
	17.1%	5.7%	21.4%	44.3%	11.4%	55.7%
幼稚園	6人	3人	8人	17人	4人	21人
	8.6%	4.3%	11.4%	24.3%	5.7%	30.0%
児童発達 支援	11人	4人	10人	25人	12人	37人
	15.7%	5.7%	14.3%	35.7%	17.1%	52.9%
日中一時 支援	17人	2人	6人	25人	11人	36人
	24.3%	2.9%	8.6%	35.7%	15.7%	51.4%
送迎 サービス	13人	1人	7人	21人	11人	32人
	18.6%	1.4%	10.0%	30.0%	15.7%	45.7%
居宅での 保育	9人	0人	2人	11人	7人	18人
	12.9%	0%	2.9%	15.7%	10.0%	25.7%
その他	3人	1人	0人	4人	2人	6人
	4.3%	1.4%	0%	5.7%	2.9%	8.6%
未回答	0人	0人	1人	1人	4人	5人
	0%	0%	1.4%	1.4%	5.7%	7.1%

＜集計２＞ 希望するサービスと就労意向との関係を集計すると、次の図のようになる。

図 2 - 3



（※1）子どもが7歳以上での就労希望者を除く

（※2）子どもが7歳以上での就労希望者

<分析3> 希望するサービスの順位と就労意向との関係について

表2-3-5

(N=70)

サービス	就労意向	1位	2位	3位	4位	計
保育所等	就労意向あり	20人	7人	4人	0人	31人
	就労意向なし等	2人	3人	3人	0人	8人
	計	22人	10人	7人	0人	39人
幼稚園	就労意向あり	5人	10人	2人	0人	17人
	就労意向なし等	3人	1人	0人	0人	4人
	計	8人	11人	2人	0人	21人
児童発達支援	就労意向あり	8人	6人	11人	0人	25人
	就労意向なし等	6人	2人	4人	0人	12人
	計	14人	8人	15人	0人	37人
日中一時支援	就労意向あり	7人	8人	10人	0人	25人
	就労意向なし等	4人	6人	1人	0人	11人
	計	11人	14人	11人	0人	36人
送迎サービス	就労意向あり	2人	11人	8人	0人	21人
	就労意向なし等	3人	4人	4人	0人	11人
	計	5人	15人	12人	0人	32人
居宅での保育	就労意向あり	4人	1人	5人	1人	11人
	就労意向なし等	3人	1人	3人	0人	7人
	計	7人	2人	8人	1人	18人
その他	就労意向あり	1人	0人	3人	0人	4人
	就労意向なし等	1人	0人	1人	0人	2人
	計	2人	0人	4人	0人	6人
未回答	就労意向あり					1人
	就労意向なし等					4人
	計					5人

就労意向ありでは、「保育所等」を1位とする回答が最も多い。

就労意向なし等では、「児童発達支援」を1位とする回答が最も多い。

<集計>の結果と照らし合わせると、就労意向ありでは、「保育所等」を希望する方が最も多く(31人)、うち20人が1位に挙げており、就労意向なし等では、「児童発達支援」を希望する方が最も多く(12人)、うち6人が、1位に挙げている。

※ 調査では、1位～3位までの希望サービスを選択することとなっているが、2人が4項目を選択しており、うち1人が順位を付けておらず、1人が「1位～4位」を記載している。その他1人が、2項目を選択し、順位を付けていない。

また、その他の回答は、「リハビリの頻度を増やしてほしい」、「預け先の充実」、「情報提供や介助者の精神的ケア」、「短期入所施設の創設」といった内容であった。

2-(4) この調査票は、どこで受け取りましたか。該当するものに、○をつけてください。

表 2-4

(N=70)

受取場所	児童発達 支援セン ター	児童発達 支援事業 所	訪問看護 ステーシ ョン	区役所	病院	その他	未回答	計
人数	23人	5人	18人	0人	10人	10人	4人	70人
割合	32.9%	7.1%	25.7%	0%	14.3%	14.3%	5.7%	100.0%

最も多いのは、児童発達支援センターで、約3分の1を占める。次に、訪問看護ステーション(25.7%)、病院(14.3%)と続く。なお、その他のうち5人は、日中一時支援事業所と回答している。

2-(5) ご意見、ご要望などがありましたら、ご自由にお書きください。

表 2-5

意見趣旨	件数
一時預かり・ショートステイの充実など、医療的ケア児の保護者にレスパイトの機会を与えてほしい	16件
医療的ケア児の保護者が就労できる環境を整備してほしい	10件
保育園・幼稚園で医療的ケア児を受け入れてほしい	10件
児童発達支援センター・事業所の利便性向上など、療育環境を整備してほしい	6件
訪問看護サービスを利用しやすくしてほしい	2件

自由意見欄に、39件の記入があった。

主なものは、表2-5のとおりとなっており、最も多いのは、「一時預かり・ショートステイの充実など、医療的ケア児の保護者にレスパイトの機会を与えてほしい」という趣旨の意見で16件であった。次に、「医療的ケア児の保護者が就労できる環境を整備してほしい」という趣旨の意見(10件)、「保育園・幼稚園で医療的ケア児を受け入れてほしい」という趣旨の意見(10件)が多く見られた。

